

第8期瀬戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画  
全体評価表（令和3年度下半期）

評価項目	総合評価
1 地域包括ケアシステムの深化・推進	
(1) 自立支援、介護予防・重度化防止の推進	B
(2) 介護給付等対象サービスの充実・強化	B
(3) 在宅医療の充実および在宅医療・ 介護連携を図るための体制の整備	B
(4) 日常生活を支援する体制の整備	B
(5) 高齢者の住まいの安定的な確保	B
2 認知症施策の推進	
認知症施策の推進	A

- A 達成できた
- B おおむね達成できた
- C あまり達成できなかった
- D 達成できなかった

全体評価
B

担当部署評価

第8期計画においては、全体的におおむね達成できた。  
下半期では、上半期の反省を生かし、感染対策をしながら多くの事業が実施できた。引き続き、新しい生活様式下での事業の開催方法や内容を検討し、安定した事業が行えるようにしていく。また、多角的な支援を必要とする事業が増えているため、関係する機関との連携をより深めていく。

評価委員会評価

コロナ禍であるが、全体的によく活動できている。  
今年度の評価委員会からは、「必要に応じて評価指標や目標値を変更、または適正な値に修正したほうがよい」という提案をする。計画の修正等のあり方について、事務局等然るべき所にて検討し、その判断を「評価委員会に委ねる」ということであれば、来年度以降の評価委員会に反映してほしい。